日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ

8

日本GAP山形支部機関誌

ユニバーサルメッセージ 8

類は類を呼ぶ　山口　緑 …1

庭先のスケッチ　安藤澄雄 …2

アダムスキー哲学に接して　漆山晃治 …6

UFO　ティティカカ湖上空に出現! …7

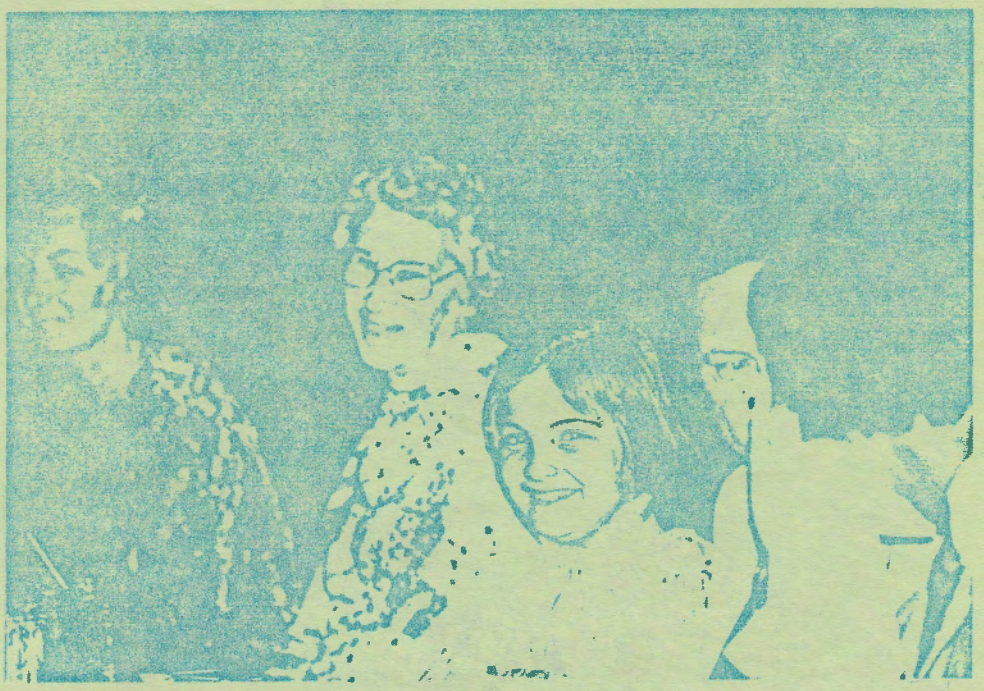
質疑応答　山形・仙台合同支部大会　久保田八郎 …8

お便り紹介　大久保千秋 …11

〈恒例〉イモ煮会 …12

お知らせ・編集後記 …13

表紙：今夏旅行におけるデザートセンターにて
フレッド・ステックリング氏の説明をきく



日米合同夕食会　8月14日　中央はエリシア嬢

類は類を呼ぶ

「類は類を呼ぶ」ということを最近になって身をもって感じることが多くなりました。これは純然たる宇宙の法則で、私たちのあらゆる生活に見い出すことができます。私たちはこの宇宙のすべての人や物と接触することはできませんから、自分の真の実体は自分に現在必要で、最適な環境を選びます。それが政治、経済面による選択から、身近にいる親、兄弟、友人との出合い、また自己の日常使用する必需品までこの「類は類を呼ぶ」という法則によって決定されるのだろうと思います。

私は今者からある職場で働いていますが、そこには数名の同僚がいますが、そのいずれも自分自身にとって同調できる人々であり、職場には各人に共通した波動が漂っています。それぞれ全く別個な経路によって集ったた人々ですが、それぞれが類が類を呼んで集まったわけです。

日本GAPを構成する人々はこの法則を裏付ける典型といえるでしょう。この法則によって引き寄せられた人々の相互間にはカルマ的要素を含むことも確かです。カルマの法則は親和の法則の中でも最も強力で、絶対的な法則かも知れません。

さらに重要なことだと思われるのは「必要な物は与えられる」という法則です。これは「類は類を呼ぶ」という法則と、本質的には表裏一体である、といえます。なぜなら必要だからこそ集まるからです。

私の職場には厄介な問題もありますが、しかしそれは今自分がその中で学ばねばならないことがあるのであり、そのために類が類を呼んで集った人々と接する必要があるわけです。それに気づく以前の自分は、仕事に対するけだるさを感じ、怠惰な気持ちで満たされていました。そこで考えたのは、この与えられた環境は自分にとってまさに必要だからこそ与えられたのだ、このチャンスを生かし、生命の一面を探ろう、ということです。そしてこの仕事も運命にやって、この道のエキスパートになろう、ということきらめくフィーリングが起ってきました。眼を現象面ではなく、その現象の内部にある〝因〟に向け、あらゆる相互関係を分析しながら生活しますと、宇宙の流れの中で、今自分がどこにいて何をすべきか、というこが少しずつわかってくるようです。そしてまわりの環境がなぜ必要で、なぜ類をもって集ったかを理解することになり、すべての自分の周囲に対し感謝の想念を持つことになるのです。そしていかなる類を引き寄せるかは各人にかかっているわけですから、私たちはアダムスキー哲学を実践し、スペース、ピープルを類にいたしましょう。

どうしたのですか？こたつなんかにもぐり込んでしまって。仕様のない人ですね。それじゃ私がヒマつぶしに少しばかりお話をしてあげましょう。

庭先のスケッチ

安藤澄雄

雨の日

　まだ暑いころのことです。といっても秋の始まることを告げるコスモスが咲き始めたころのお話なんですが。

　今年の夏は雨ばかり降っていて、どこもかしこも雨で溶けて流れた色の混じった、灰色っぽい顔をしていました。そんな中に小さく明るいピンクのコスモスが開き始めたのです。コスモスが大好きな私はすぐに黒いかさをさしてコスモスに会いにいきました。

　雨にぬれて黒いアスファルトのそばに静かに立っているその姿は、昔恋したニキビ顔の少女を連想させて哀しく、かさを打つ雨は最高に美しいメロディーを奏でます。

一人で過去に浸っていると、風の助けで、そこに先客のいることにようやく気づきました。雨を避けてきたのか、コスモスのあの細い葉に一匹のガが力なくぶら下がっていたのです。その白い体は雨にぬれてか痛々しいほどに透明で、夜ともなれば街燈のまわりで愉快に踊っているあのイメージからはほど遠い姿でした。その白い羽根をコスモスの細い腕はやさしく覆っているのでした。

　私はそんな二人のためにかさをさしかけずにはいられず、その前に座り込んでしばらくのあいだ雨音とコスモスの香りを楽しんでいました。

　どれぐらいたったでしょうか。ふっとコスモスが話しかけてくれたような気がして顔をあげました。「もう、立ってください。そして、歩き出してください」

　相変わらず雨は細く降り続き、かさを失ったコスモスとガは雨の中で小さくゆれていました。「ガをたのみましたよ」そう言って私はコスモスと別れてきました。

恋した日

おや、あなたが寒いのは心なのですか？　それでは恋の話でもいたしましょうか。

「便所虫」というのを御存知ですか？　あ、笑わないでください。私はあの日以来、この名前を聞くと哀しくなってしまうのですから。

正式には何と呼ぶのかわかりませんが、今でも水洗でないトイレならよくお目にかかる、ハチにも似た、だけど針を持っていない虫がいるでしょう。トイレでよく見かけるので私は「―虫」と呼んでいるのです。

夏も終わり、秋の冷たい風がほおをかすめるころでした。私が我が家のトイレを利用していると、例の「――虫」が羽音高く飛び込んできました。「お、元気がいいねえ」と、私は目の前を小さくぐるぐる回っているその虫を見ていましたが、ふとほんの気まぐれに「この手で休まないかい？」と左手をそっとさし出してみたのです。

虫は相変わらず、しかしちょっと考え事をしているように飛び回っていましたが、いい休み場所を得たと思ったのか、やがて私の伸ばした左手の親指に止まりました。私はうれしくなって、用もなくなったトイレの中でしばらくその虫を見つめていました。薄茶色の背中にそっとのせてある透きとおった長い羽根は、この虫の半生を支えてきた力強さで輝いていました。

突然、ブーンという大きな音を出しながら、窓から一匹の熊バチが舞い込んできました。私はあわてて、しかし静かに虫の休んでいる左手を自分の体に引き寄せ、熊バチに見つからないようにしました。虫はそれがわかったのか、私の指にしっかりしがみついたままジッとしています。熊バチはゆっくりと室内を二回、三回とまわって出ていきました。

「さあ、もう大丈夫だよ」

私は再び手を伸ばして虫を見つめました。虫は相変わらずジッとしていましたが、心なしかホッとしているように思えました。窓の外では小鳥たちが歌い、ときおり流れ込む冷たい空気は、もうすっかり秋になったと告げていました。

「いつまでもこうしているわけにはいかないんだ」。

いつになっても飛び立つ気配のないその虫の姿に、私はちょっとばかり疲れを感じて「さあ、行きなさい！」と左手を左手をふわりと動かし、虫を飛び立たせました。

秋の日が暮れるのは早いものです。一日の仕事を終えた私は、体に快い疲れを感じながらふとんにもぐり込もうとしていました。するとどこから迷い込んだのか一匹の虫が天井のあたりをぐるぐる飛び回っています。「あれ、お前は……！」よく見る

とそれは昼間、トイレで会ったあの虫でした。「どうしたんだい？　さあ、ここから出てゆきなさい」入口の戸をいっぱいに開いて虫に呼びかけましたが、虫は一向に出て行く気配を見せず、ただあっちへ行ったり、こっちへ止まったりしているだけです。まぶたの重さに絶えきれなくなった私は、仕方なく「おとなしくしているんだよ」と言って眠り込みました。

　次の朝はとても冷え込み、ふとんから出るのがとてもつらく感じられました。それでもようやく起き上がった私は、まくらもとを見てハッとしました。そこにはあの虫が、その細い足を縮めて死んでいました。その表情はけれど、何とはなしに満足げで、やさしさすら感じられるほどでした。「そうか、お前はぼくに会いに来てくれたんだな」私は視界がにじむのを覚えました。

　動かなくなったその体をそおっと両手で包み、庭の片すみに置きました。朝露をまとった草たちが朝日を浴びてキラキラ輝き、まるで彼女の死を祝福してくれているようで、思わず私は手を合わせていました。

月の夜

　今夜は冷えますねえ。そういえば外はすっかり秋で、夜ともなれば庭先のコオロギやスズムシやウマオイたちの、それはそれはにぎやかな大合唱が始まります。その歌声は私たち人間にとって、ときに美しく、ときには騒がしくさえ聞こえたりするものですが、あの夜以来、私はもう一つの聞き方があるのを知らされました。

　その夜、私は遅くまで机に向かっていました。秋の暗やみの中からはいつものように大合唱が聞こえています。

　フッと耳に異和感を覚えペンを置いてみると、さっきまであんなににぎやかに聞こえていたはずの歌声がピタリと止んでいるのです。完全な静寂に恐怖をいだいた私はジッと身構えていました。すると何秒かしてグラグラと地面が揺れ出したのです。幸いたいしたことのない地震でしたが、それにしても彼らの敏感さには全く敬服させられました。

　今夜も虫たちは短い一生のことなど気にもかけずにあざやかに歌っています。

小菊の日

　あなたは何だかずいぶんうれしそうですね。そうですか、もうすぐ結婚なさるのですか。それではあなたのために、花束をプレゼントしましょう。

　先日、母がどこからか（たぶん裏庭でしょう）小菊をたくさんつんできました。普段の私なら、そうして折られた花を飾るのは好まないのですが、その日だけはなぜかしらその花たちを

自分の部屋に置きたくなり、大きなジョッキに水を入れ、タンスの上に飾りました。

しばらくそのまま放っておきましたが、あるとき突然、水を換えなければ、花の感じがしました。小菊のところへ行ってみると、水が乾燥し一滴もなくきっと空気にも触れたから蒸発して枯らしまったのでしょう、危なかった。

印象はゴメンなさっきの小菊の叫び声だが急に思いがけない水をやりとうとしたのに感じられた。

夕やけの日

仕様のない人ですねえ、またそんな顔をして。ほら、外をごらんなさい。けさから降っていた雨はもう止んでしまいました。そこの飾りガラスがタやけでにじを作っているでしょう。それでは一番新しいお話をしてあげましょうか。

さっきまでいっぱいさっきです。私は久しぶりのタやけが見たくて外に出てみました。そこには雨に洗われた木々や草花や秋の風がキラキラ笑っていました。

すると足もとの植えのつゆ草の葉が声をかけてくれました。「ちょっと来て、私を見てみない？」タ陽を通してステンドグラスのようにきらめくそのよく見ると小さな流線形の繊維は、ぶ毛のようなほほえんでいます細胞たちが美しく並び、

私も見てば！」という声に隣のはちを見れば、今度は肉の厚い葉が洗い髪のようにその表面を光らせ、うれしそうにゆれていました。そしてあたりを見回せば、どの木も、どの草も、夕陽を浴びたその透明さはやはり生きていることを主張していました。

あとがき

私が東京から宮城に帰ってきて、もう七か月たちました。その間にふるさとの冬を除く三つの季節を見てきて思うのは、やはり自分には都会に住むだけの力がなかった、ということでした。

こんな文章をGADの支部報に載せていただこうとするのは不似合いかも知れませんが、強いてGADに関連づけてみるならば「自然を観察しなさい」というラダムスキー氏の言葉に従って、そして感じたことを皆さんにお伝えしたかったということでしょうか。東北はこれから冬に向かいます。今年の東北は一体どんな冬を見せてくれるでしょうか。

アダムスキー哲学に接して

漆山晃治

私はGAPへ入会してから今日まで、これといった目に見える変化もなく平凡な生活を送っている一人であり、自分から意見を言うことは何もないのですが、何かひとつ書いてくれないかという勧めもあり、今日の生活状態やアダムスキー哲学を学んでから実践に移したことについて書いてみたいと思います。

私は八年前に友達より借りた「空飛ぶ円盤実見記」を読んで、アダムスキー氏とオーソン氏がデザートセンターで会見した臨場感を、さも自分も一緒にいるような興奮を覚え、早速久保田先生宛に入会の手続きをとった次第です。

今日まであのような強烈な印象を受けたことはなく、今でもはっきり脳裏に焼きついています。

そして、アダムスキー氏の哲学を学ぶことによって徐々に考え方や生活を変えることになってきたように思われます。

最初に興味を引いたのは核兵器の危険性についてです。当時私は青年団に入っており、毎年一名ずつ核兵器禁止の世界大会に派遣していたので、私も参加したいと思い街頭での募金や署名運動を行い、また団員からカンパを貰い市の代表として世界大会（広島）へ参加することができました。大会中は討論会、被爆者慰問、総会への出席と歩き回り、今なお苦しんでいる被爆者の実態と、核兵器の恐ろしさを学んでくることができました。

次に想念観察はアダムスキー氏の哲学に接してからまもなくして始め、毎日手帳を持ち歩き宇宙的想念と非宇宙的想念とに分けて観察することによって、少しずつ自分の想念パターンを知ることができました。

しかし頭の中で理解することは簡単ですが、実行に移すには勇気を必要としました。まだまだ非宇宙的想念の多い私であり、今は手帳にその日の生活で感じたこと、行いについての反省等を箇条書きに記録し、宇宙的想念に切り替えるよう努めています。

また現在の生活では会社の仕事以外に地区内の役割や市教育委員会より委嘱されている役割を持っており、結構忙しい日々を送っているところです。

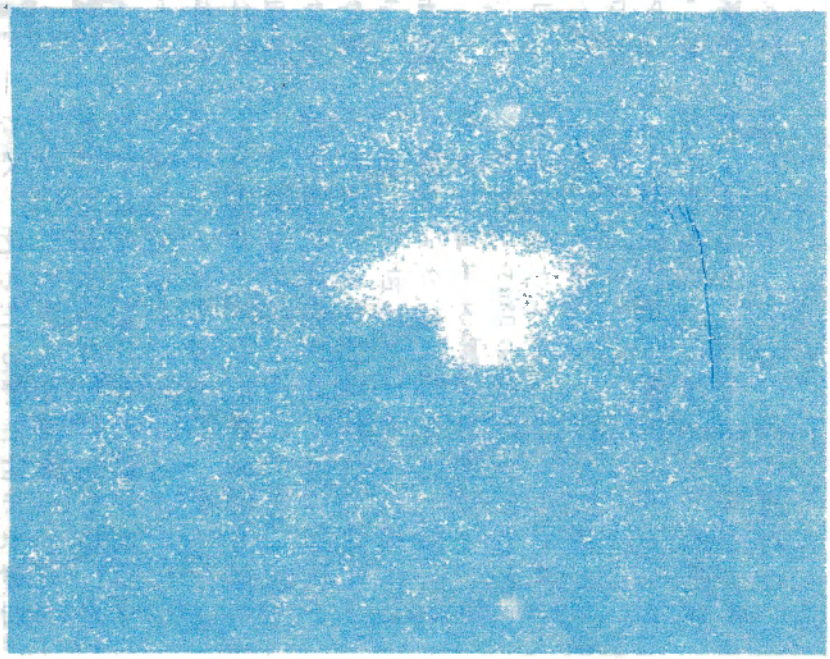
ホワイティング氏の言われるように生活を単純化したほうが良いと思っているのですが、種々の事情により出来ない状態なので、長い目で改善してゆきたいと思っています。

創造主が与える日々のレッスンを謙虚に学び、楽しみ、焦せらず、自分の足で歩んでいきたいと思います。

UFO

今夏のアメリカ南米宇宙考古学の旅で、土星型円盤がティティカカ湖上空に出現した。これはニューズレター71号に紹介されたがここに詳細を報告したい。

ティティカカ湖上空に出現!



撮影 安藤澄雄氏

●データ ニコンFE・ニッコール35mm F2.8・コダクローム64 f値・シャッタースピード不明(大伸)

●8月20日旅行団一向はプノ市のホテルを午前6時すぎに出、バスでつりという船着場に向かった。8時すぎに現場に着いたが、ここから水中翼船に乗りこんでボリビア側に入るのだが、船が着くまでに時間があるのであたりを散策や写真撮影をして過ごした。全くの快晴だがかなり肌寒い。ふと「この上空に円盤が出現する!」というフィーリングが起こり、しきりにあたりを見ていたが物体は出現しない。そしてこのフィーリングを忘れかけた頃、名古屋市の私の友人武田充弘氏が私と写真に二人で写ろうと誘いかけてくれた。私は快く承諾したが近くにおられた久保田先生をもいっしょに映って頂こうとお願いし、私のカメラを安藤澄雄氏に手渡し、一枚撮って頂いた。帰国後現像し映写して初めて土星型円盤が写っているのを発見した。原画はカラー。

質疑応答

久保田八郎

以下の質疑応答は去る五月二十五日に行なわれた山形・仙台合同支部大会において、久保田先生を解答者として交わされた質疑応答の記録である。有益な内容が含まれると思われるので、参考にして頂ければ幸いである。

問1　私は自分の過去世についてほとんど記憶していませんが、それを知ることができれば自分の人生の目標や学ばねばならない点をつかめると思います。そこで過去世を透視できる超能者によって知らしめてもらうというのはいかがですか。

答　無理して知ろうとしなくてもよいでしょう。過去世を知ることは主に「生命の連続」を知るために必要なんです。人間というものは一回限りのものではなく、死んだらまた生まれ変わるという「生命の連続」というものを知るために前生を思い出すことが、むしろ必要であり、興味半分のものではいけません。過去のことは過ぎてしまったことですから、現在の瞬間とはあまり関係ないと思います。私にはすぐ前の前生の記憶はありますが、あまりこだわりません。

むしろ私にとってこの頃非常に重要なのは、現在の一瞬一瞬、未来に対する展望と希望、決意、「これから自分はどうしてやっていくのか」ということです。このことを私はしきりに考えています。

まず自分の生活をどういうふうにやっていくか、もっと具体的に言えば、問題は明日のコメ代をきょうどうやって稼ぐか、ということです。そしてコメ代を稼いでしっかりメシを食ってからだを養って、その上での宇宙哲学、精神的うえでの向上をめざす、これが一番大事だと思います。ですから過去世を知りたいのなら、本当は自分で思い出すのが一番いいんです。どうしてもそれが無理なら、そうまで関心を起こす必要はありません。

問2　宇宙的な音楽とはどんなものですか。

答　ステックリング氏によれば本当に宇宙的な音楽というのは、自然の音響だそうです。川のせせらぎ、森や林を吹き渡る風の音、あるいは虫の鳴き声、これらが最高の音楽だというんです。ですからそういう音響をききながら、そういう環境で過ごしている人が本当は一番いいわけなんです。

いわゆる人工的な音楽の中で宇宙的な音楽というのは、ステックリング氏によれば〝ワルツ曲〟だそうです。三拍子の曲です。有名なヨハン〝シュトラウス〟というオーストリア出身の、一九世紀に活躍し、「ウィンナ

ーワルツ」という曲を作曲した「ワルツ王」と呼ばれる人がいますが、その曲などは宇宙的なのだそうです。なぜならばシュトラウス自身が金星から地球へ転生してきて、当時のヨーロッパの騒然たる状態に不安におのいていた人たちの精神を高揚させるために明るい曲を作って、それから金星に帰ったということだそうです。

それから今はやりの、若い人たちに受けるロックだとかフォークだとかいろんな騒がしい音楽がありますが、あういうものはすべてセンスマインドから出るものであって、これは聴くに値しない、価値のないものだ、といっています。しかしステックリング氏によりますと、だれしも自分が聴いて「これは実に美しい。自分の心を高揚させるような音楽だ」と思う曲があれば、どんな種類のものであるにせよ、これはすなわち宇宙的である、といっています。

ヨハン＝シュトラウスの「美しき青きドナウ」という有名な曲は「2001年宇宙の旅」という有名な映画―これは映画史上もう空前の超傑作ですが―、宇宙船が大気圏外に進行するときにこの曲がBGM（背景音楽）として流れてくるんですが、これは非常に印象的で、しかも映画の音楽としてはもう最高によかったという評判でした。あの映画ではすべて既製の、有名な曲をつかっているんです。最初のタイトルの部分などはリハルト＝シュトラウスの「ツァラツストラはかく語りき」という有名な音楽の出だしの部分をつかっています。これも大成功であったということです。

そこで考えますのに、どうもあの映画の中で「美しく青きドナウ」がつかわれたというのは、何かスペース・ブラザーズがあの映画の音楽ディレクターあたりにそれとなくアドバイスしたか、そういう想念を吹き込んだか、何かあったんじゃないかなあという気もします。非常に哲学的なすばらしい映画でして、結局アダムスキーの転生の哲学を最後的には応用しています。また再上映の機会がありましたら、是非ごらんなって下さい。

問3　金星人はどこかの太陽系に移動したということですが、最近の気象の異常は世界的なものであると思います。それが今度の惑星直列とか、ハレー彗星だとかが地球に及ぼす影響はどうですか。

答　詳しいことはわかりませんが、この太陽系がかなり全体が衰えてきたということは確からしいですが、しかし金星の住民

がひとり残らず、移住したということではないようです。新らしい太陽系を発見して、他の惑星にとんとん移動しつつあるということは、そうらしいですが、まだ金星には多数の住民がいて住んでいるはずなんです。

去年の六月頃、金星ロケットが金星の表面に不思議な白熱光を発見したという記事が新聞に出ていましたが、これをほとんどのんが読まなかったと思います。私はこれで金星の大文明が発見されたと思い、喜んだのです。白熱光というのは要するに金星の都市の輝きです。だからまだ人間は住んでいるでしょう。

惑星直列とかハレー彗星とか、こういう先のことは全くわかりません。

問4 自衛力を持てば核武装になると思いますが、どうですか。

答 そこがポイントです。〈自衛力を持たなくてはならない、というのは〉一般論であって、アダムスキー哲学に基づいていえば、核兵器はおろか人殺しのための拳銃一丁、ナイフ一丁持ってはならないのです。ところがGAPの会員の方の中にも、ある程度の軍備はしようがないけれども核兵器はいけない、という人がありますが、これは矛盾もはなはだしいことです。

こしかしそうこと言ってみたところで外国の人たちに拳銃一丁とてもっとも完全な日本が全部完全に核兵器を持つことは完全に核兵器を持つことは完全にやしたところにあるでしょう。そうしたつけてやれ」とは完全なワッーと来るでしょう。そしてひどい目にあうでしょう。

すから一般論としてはダムスキー哲学は別といえば、今アメリカ対核兵器の均衡が保たれる時代です。

ダムスキー哲学は持つことによって、今アメリカ対核兵器の均衡が保たれる時代です。

もあるもっとも持ってはいけないものは持ってはいけないのだ！ぞれどもあるんだ！

そういう意味のおとしいうかいうのでは日本が核兵器を持ちたいけれども日本自体が長持ちしないのでは、という時代です。問題は政治屋の点で難点はあります。簡単にいえば、核兵器を持てばよい、とは問題です。（最終的には地球人間の判断にかかっている、という意味）。

問5 宇宙には「宇宙連合」というような存在とかいうものは銀河系連合とかいうものはないとかいうことは、ここのろまか。

答 宇宙には「宇宙連合」と陽系内ならば全部連合しているはずです。地球も太陽系連合」を組んでいるはずです。地球は太陽系のそれぞれの特殊な人間だけでおり、ごく少数の特殊な会議に出席が時々代表として重要な会議に出席しているはずです。

アダムスキーは土星会議に出席していました。アダムスキーはずいぶんでかいからも誰かその継承者がいるはずです。

お便り紹介

青森県
大久保千秋氏

前略

イ王煮会のときはわざわざ送りむかえ、そして宿へアパート上を提供して下さってありがとうございました。山口氏の所にはいつも行くと泊めて下さり、いつも深謝にたえません。宿をとろうとすると一泊4ち000円はとられると思います。そんな中でなんの要求もせずにアパートにとめて下さるということ自体、心の広さがつたわり、宇宙の意識の声に素直に従っているということでしょう。この事は笠原夫妻にもいえることです。このようなすぐれた者同志が近くにいて、宇宙の意識に従っているということは、スバラシイ事だと思います。きっと遅去世でも一緒だった時機が必ずあるはずだと思います。（中略）

宇宙哲学では広はんな活動性が要求されていると、アダムスキー氏は述べています。これはこの様にも解釈できると思います。つまりこの世で考えられる最高の思想、または理論は体（肉体）で覚えなければ何にもならない、ということです。知識を吸収し行動に表し、その事（知識）がなにを言いたかったかを理解し、体得できるのです。

知識は単なる知識（物）ではありません。過去の偉人、先人のたゆまぬ行動から生まれた情です。または心証です。心からのあかしなのです。この世では単なる知識しか与えられず、しかも考え方はこうだしとしか教えて下さいません。こんな事は現状をよくする為には無意味です。みんな個性を持って現われてくるのに、みんなたわごとで統一されてしまいます。こんなことが許されてよいのでしょうか。否です。絶対に否です。たわごとに満たされないためには自分自身の体（肉体）で体験することです。これが一番手っとりばやい方法でしょう。人にはふさわしい出会いがあります。この事を知って自分の本当の姿を表して下さい。それこそが幸せになる方法です。いつわらなければそれだけ幸せになる自分を見つけましょう!! お互いにたすけあって、手と手をとりあって……（中略）

僕が好きなマンガにはこういうことがかかれていた。

百万回通意（ひたすら念べば、意は必ず通じる。）

一生きていればね、まい日なにかがおきる。けれどそのおきたことと自体は幸、不幸の性格をもってない。幸不幸の性格づけをするのは私たち人間よ。」

山口様、またいつかお世話になります。そのときはなにとぞよろしく。笠原夫妻にもよろしく。また会える日を楽しみにしています。

十月二十六日、山形・仙台支部恒例の〝イモ煮会〟が開催された。このイモ煮会は山形の伝統ある催しで、大きななべにサトイモ、コンニャク、ネギ、牛肉、キノコなどをスれ、しょうゆまたはみそで味付けをし、秋のぬけるような晴天の下で野外で賞味する、非常に楽しく〝宇宙的〟な催しである。

この日のイモ煮会には超多忙のスキを抜けて久保田先生が飛来されたし、青森からは大久保、中根の両氏、横須賀からわざわざ足をはこばれた千田氏、東京の大野さん、栃木の菊地さんらが遠路ながら駆けつけて下さった。

前日までのどしゃぶりがこの日は奇跡的に止み、会場の山形市内にある馬見ヶ崎河原の各所からは白い煙が舞い上がる。正午すぎに久保田先生が見えられ、笠原氏の音頭でカンパイ！そして女性による最高の味を吹き込まれたイモを賞味したが実においしい。久保田先生は「このように自然の中で会食し、楽しく語り合うのはすごく宇宙的だ。東京でもやろう」と大いに喜んで下さった。

風が冷たくなってきたので編者の狭いアパートに移ったが、二十数名の大部隊で足の踏み場もない。しかし皆さんが大いに楽しもうと歌が続出。久保田先生はかつてギターの名手と言われたほどで、次々に巧みに弾いて下さった。これはめったに聴けないものだろう。大いに語り楽しいイモ煮会は大成功だった。

翌日は二台の車に分乗し、東北で最も高い建物といわれる山形県庁の最上階に上り、山形市を一望した後、かつて俳人松尾芭蕉が一岩にしみ入る蟬の声」とうたった山形市郊外にあるまじりのない山寺を訪れた。雨にくのドライブであったが、雨も時には必要である。

久保田先生、参加者各位に心から感謝したい。（編者）

日本GAP

山形支部月例研究会

- 毎月第1日曜日　午後1時～5時
- 山形市民会館　小会議室
- 会費 200円　●「テレパシー」持参

※注意．日程の変更があります！

・12月7日　●1月11日　・2月1日

・3月1日（市民会館以外が会場）

〈1月は第2土曜日になります。〉

●連絡先

〒990 山形市東原町 4-17-18 朝日荘 23

事務所（0236-44-0670）13:00～18:00

現代学習セミナー　山口 緑（明）

本誌バックナンバー

7号のみ残部があります。ご希望の方は送料共200円分の切手か振替にてお申込下さい。有益な内容が満載です。

編集後記

●向寒の候、ようやく第8号を発行するに至りました。ご支援に深く感謝申し上げます。

●11月9日に開催されました「日本GAP設立三十周年記念総会」も大盛況で、久保田会長を含む六人の方々の空前絶後と思われる大講演は参加者に絶大なる感銘を残して下さりました。また、今夏の旅行の記録映画も非常に素晴らしく、参加した編者も懐しさが胸いっぱいにこみあげてきました。総会のためにご尽力をつくされた方に深く感謝申し上げます。

●山形市で開催されました「イモ煮会」も大変な大盛況で、関係者一同、非常に喜んでおります。来秋も盛大なるイモ煮会を開きますので、よろしくご参加下さい。

●安藤氏がお寄せ下さった「産先のスケッチ」は実に興味深いものを感じます。すぐれた文学的色彩の中に安藤氏の日常の体験の中の〝宇宙哲学〟が感じられます。ちなみに写真、出版関係と活躍され、「テレパシー」の解説の記録書を出されておりますので、ご希望の方は左記へご照会下さい。

〒980-16 宮城県柴田郡柴田町大字本船迫字内沼田 96-2
安藤澄雄宛

●各地の地方支部より、素晴らしい支部報をお寄せ頂き、厚く御礼申し上げます。お寄せ頂いた支部報は次の通りです。

・静岡支部報 22・23号　・岐阜支部報 3号

・松山支部報 6号　・熊本支部報 4号

・仙台支部報

●ティティカ湖上空の青星型円盤の出現は、編者にとっても驚異ですが、やはりプラザーズは私たちGAPをいつも上空から見守っていてくれるという、よき傍証と思います。私たちはいつも彼らと一体なんだというフィーリングを高めて、宇宙的な生活を実践してゆきましょう。今後ともよろしくお願い申し上げます。（山口）

日本GAP山形支部機関誌
ユニバーサルメッセージ 8
編集発行人　山口 緑
発行所　日本GAP山形支部
〒990 山形市東原町 4-17-18
朝日荘 23
振替　山形 65225
Dec. 1 1980
頒価 100円・送料 100円